



# 津市立修成小学校 創立 150 周年記念式典

日時：令和5年6月2日(金) 9時30分～  
場所：津市立修成小学校 体育館



- (1) 開式の辞
- (2) 校歌斉唱
- (3) 実行委員会会長・校長挨拶
- (4) 来賓挨拶
- (5) 記念品（校旗）寄贈
- (6) 修成小学校の歴史・児童代表発表
- (7) ビデオレター「戸上隼輔氏」
- (8) 津市消防音楽隊の演奏
- (9) 全員合唱
- (10) 閉式の辞

終了後 児童記念撮影



## 校歌

作詞 本間 一咲  
作曲 服部 正

鈴鹿の山と岩田川  
ながめて よい子は 育ちゆく

あの窓 この庭

ほがらかに

ほがらかに 楽しい 修成小学校

揃う歌ごえ また楽し

古い歴史と 新しい

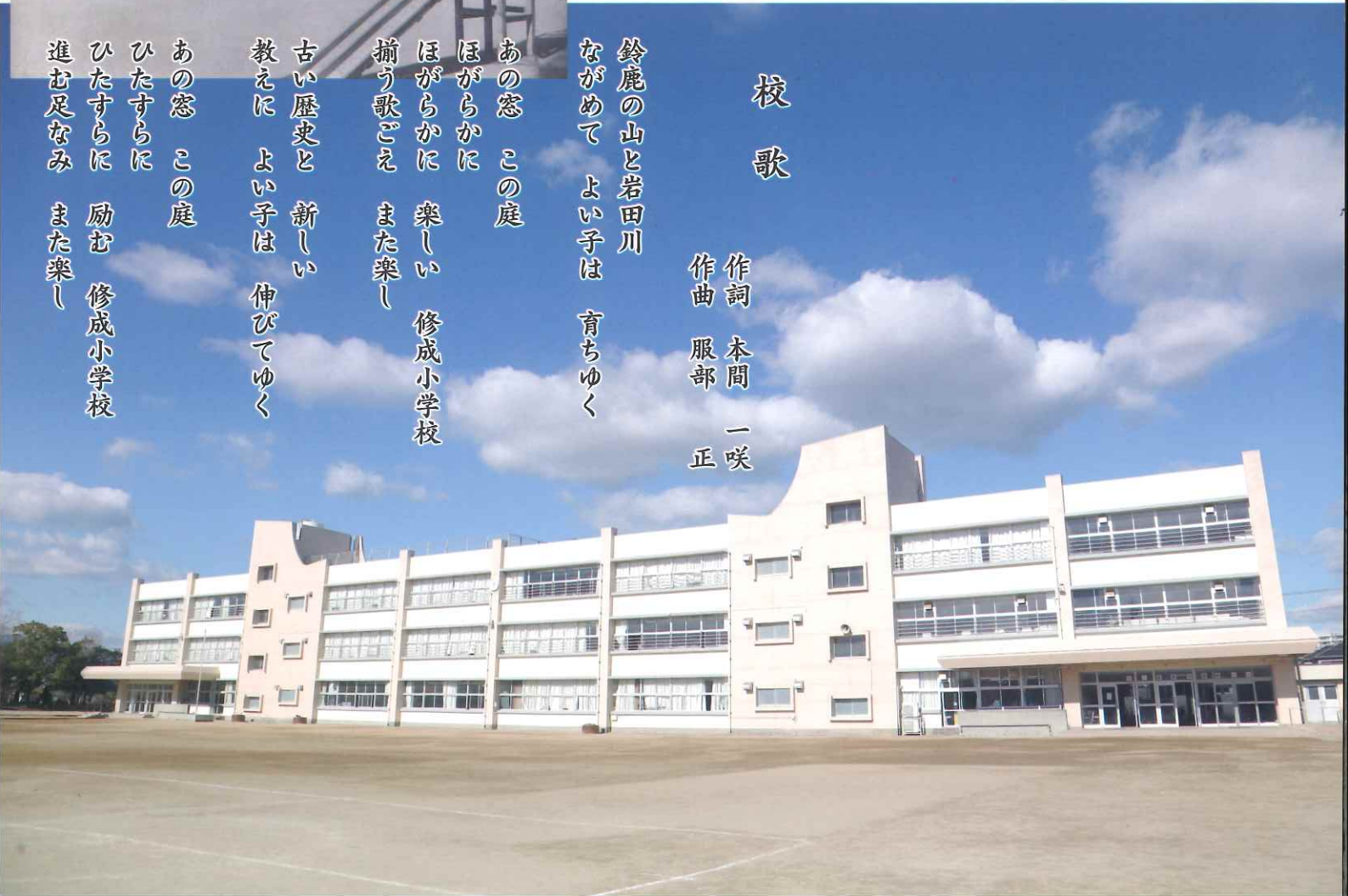
教えに よい子は 伸びてゆく

あの窓 この庭

ひたすらに

ひたすらに 励む 修成小学校

進む足なみ また楽し







〔扁額「修成」〕 明治13年に「修成学校」と呼ばれるようになってから昭和45年まで玄関に掲げられてきたもの



大正14年



これまでの栄光ある校旗



尋常高等小学校当時（昭和6年）



上棟  
(明治38年校舎時のもの)



昭和30年



昭和47年



昭和44年



令和4年

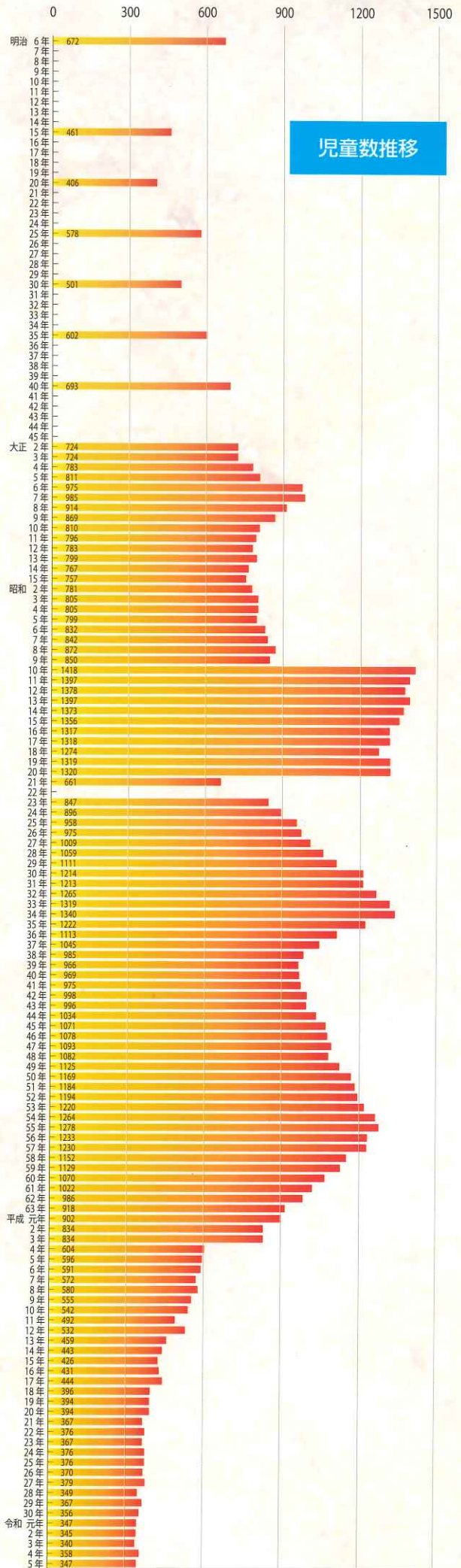


修成小学校の歴史を知る せんだんの木



学校沿革	年度
安濃郡伊予町円明寺(廃寺)を仮校舎として「伊予町学校」を創立	明治 6年
伊予町円明寺東隣に新築。「修成学校」と改称	明治 13年
学制改革により「修成尋常小学校」と改称。第一分教場「下弁財町 元の育生校」第二分教場「八幡町 元の開明校」設置。	明治 20年
「津市修成尋常小学校」と改称	明治 25年
高等科を併置し「津市修成尋常高等小学校」と改称	明治 34年
旧裁判所跡(岩田町)に校舎新築。「津市修成尋常小学校」と改称	明治 36年
「津市第二尋常小学校」と改称	明治 41年
児童増加により女生徒を津市第七尋常小学校(後の済美学校)へ分離	明治 45年
「津市修成尋常高等小学校」と改称	大正 6年
尋常科第4学年以下の学年1学級ずつを育生校に分割	大正 9年
岩田地区大豆田に校舎新築し、12月落成式を挙行(概ね現在地)	昭和 8年
市立高等公民学校新設によって高等科がなくなり、済美学校(女生徒)と合併	昭和 10年
「津市修成国民学校」と改称	昭和 16年
「津市立修成小学校」と改称	昭和 22年
台風13号岩田川決壊。床下浸水30cm最深1.5m	昭和 28年
台風15号(伊勢湾台風)襲来。階下全部15cm床下浸水。給食室77cmの床下浸水	昭和 34年
プール完成。幼稚園完成し分離	昭和 35年
A棟(北)完成。B棟(南)完成。5月 体育館完成	昭和 45年
東海三県学校図書館コンクール最優秀賞受賞	昭和 47年
創立百周年記念式典を挙行	昭和 48年
「修成百年の森」の完成式を挙行	昭和 49年
津市教育委員会から研究推進校(算数)の指定	昭和 51年
優良図書館として表彰	昭和 53年
津市教育委員会から研究推進校(特別活動)指定(平成2.3年度)	平成 2年
津市立南が丘小学校の開校に伴い分離。大規模改修工事開始	平成 4年
会議室に空調施設を設置。大規模改修工事終了	平成 8年
耐震工事開始	平成 12年
津市特色ある学校づくり推進事業研究発表(算数・総合)	平成 14年
文部科学省「学力向上フロンティア事業」(2年間)指定	平成 15年
文部科学省「学力向上フロンティア事業」・三重県教育委員会「学習意欲向上事業」研究発表(算数・少人数授業)	平成 16年
文部科学省「学力向上拠点形成事業『算数科』」(3年間)・文部科学省「就学前教育と小学校の連携に関する総合的調査研究事業」(2年間)指定	平成 17年
プール大改修工事・運動場便所工事開始	平成 18年
プール大改修工事・運動場便所工事終了	平成 19年
給食室床面改修	平成 20年
「学校の教育力向上支援事業」の重点支援校(~24年)	平成 21年
学ぶ楽しさを味わう授業づくり実践研究校	平成 23年
「愛あいパトロール隊」ボランティア組織発足	平成 24年
体育館床改修工事終了	平成 27年
文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」指定	平成 28年
児童用トイレ水洗化完了 文部科学省「発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業」指定	平成 29年
文部科学省「発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業」指定	平成 30年
普通教室・特別教室等の空調設備設置	令和 元年
修成小学校学校運営協議会設置	令和 2年
第2期津市学校施設長寿命化工事終了	令和 4年
創立150周年記念式典挙行	令和 5年

歴代校長
明治 6年 小谷 定
明治 6~9年 浅生 敷榮
明治 9~17年 山田省助
明治 17~19年 稲垣 茂郎
明治 20~21年 玉置 久男
明治 21~36年 淵田 捨吉
明治 36~41年 種村 秀橘
明治 41~43年 藤枝 義蔵
明治 44~大正 12年 徳田 柳太郎
大正 13~15年 岩崎 優
昭和 2~5年 金丸 但馬
昭和 6~7年 神戸 半七郎
昭和 8~11年 後藤 謙
昭和 12~19年 西田 重嗣
昭和 20~21年 大廣 保三
昭和 22年 松田 猛
昭和 23年 中西 忠雄
昭和 24~26年 山本 實
昭和 27~35年 池村 達
昭和 36~39年 伊藤 正孝
昭和 40~41年 濱地 重之
昭和 42~44年 紀平 政太郎
昭和 45~51年 大伏 正英
昭和 52~56年 鈴木 宗治
昭和 57~59年 坂本 順一
昭和 60~61年 黒田 嘉一
昭和 62年 伊東 功
昭和 63~平成元年 江藤 清
平成 2~4年 堅田 光融
平成 5~7年 沖中 忠男
平成 8~10年 町谷 新太郎
平成 11年 片岡 康行
平成 12~13年 古市 英明
平成 14~16年 浅生 悦生
平成 17~19年 田邊 正明
平成 20~24年 稲垣 雅敏
平成 25年 鈴木 繁美
平成 26~28年 大寺 克司
平成 29~令和元年 齋藤 節夫
令和 2~5年 小林 まり子



児童数推移





## 「校章・校名の由来」

「校章中央の文字は「修」の文字。

「修成」の意味の出处は、中国の古典歴史書の「易経」「史記」の中にある「修徳」「成業」の引用。「修」の文字を取り囲む植物は柏の木の葉を表したもの。高く大きく茂る柏の木の葉は、若葉が出るまで以前の葉(親の葉)は散らない。親から子へ、大人から次の世代へ。繁栄と継続を象徴していると思われる。



〔明治時代の「修成学校」の掲げられた扁額『修徳成業』〕

### 「修成学校校歌 (明治時代)」

徳を修めて業を成す 教の道の一筋に  
伊勢の海原いと深き 君父の恩に報いまし

## 150周年記念行事



校旗作成



航空写真撮影



記念ファイル



旧校旗を額装



横断幕



記念観劇 (津リージョンプラザ)

### 修成小学校創立 150 周年記念事業実行委員会

この事業は、次の皆様のご協力を得て開催しています。  
修成小学校 P T A ・ 修成地区自治会連合会  
修成地区社会福祉協議会  
修成地区民生委員児童委員協議会  
修成小学校卒業生 ・ 地域有志の方 ・ 修成小学校職員